

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成22年2月12日(2010.2.12)

【公開番号】特開2008-157574(P2008-157574A)

【公開日】平成20年7月10日(2008.7.10)

【年通号数】公開・登録公報2008-027

【出願番号】特願2006-348697(P2006-348697)

【国際特許分類】

F 24 F 13/28 (2006.01)

【F I】

F 24 F 1/00 3 7 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月23日(2009.12.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

空気調和機本体に設けられた吸込口と吹出口を結ぶ空気通路に配置された除塵用のエアフィルターに付着した塵埃を除去する空気調和機の清掃装置において、該清掃装置は、前記空気調和機本体に設置された吸引装置と連通し、先端に吸引口を有する吸引ノズルと、該吸引ノズルをエアフィルター上を移動させる移動手段とを有し、前記吸引ノズルは、前記吸引口の近傍に、並列に回転軸が配置された回転自在な複数の回転清掃体を有することを特徴とする空気調和機の清掃装置。

【請求項2】

複数の回転清掃体は、少なくとも1つの回転清掃体の回転方向が他の回転清掃体の回転方向とは逆方向であることを特徴とする請求項1に記載の空気調和機の清掃装置。

【請求項3】

吸引ノズルは、回転清掃体に付着した塵埃を、該回転清掃体から分離させる櫛を備えてあることを特徴とする請求項1又は2に記載の空気調和機の清掃装置。

【請求項4】

請求項1から3のいずれか1項に記載の清掃装置を有する空気調和機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項1の発明は、空気調和機本体に設けられた吸込口と吹出口を結ぶ空気通路に配置された除塵用のエアフィルターに付着した塵埃を除去する空気調和機の清掃装置において、該清掃装置は、前記空気調和機本体に設置された吸引装置と連通し、先端に吸引口を有する吸引ノズルと、該吸引ノズルをエアフィルター上を移動させる移動手段とを有し、前記吸引ノズルは、前記吸引口の近傍に、並列に回転軸が配置された回転自在な複数の回転清掃体を有することに特徴を有する。したがって、回転自在な複数の回転清掃体がエアフィルターの網目に付着した塵埃を表面に掻き出し、この表面に掻き出された塵埃を吸引口から吸引装置へ集塵することができる。